



Younさんが答える 何でもQ&A



名人Garage
Anthony Younさん

Profile

群馬自動車大学を卒業後、日本で整備士として働く。ガソリン2級自動車整備士、ディーゼル2級自動車整備士の資格保有。日本での整備士の経験を活かし、先月同工場をオープン。日本語での対応も可能。

ガソリンを無駄に消費しないためのコツはありますか？

A

- 1) 整備士にエアフィルターの掃除してもらい、きれいな空気が入るようにしましょう。
- 2) 走行中のリスタート時にアクセルを踏み込み過ぎないことです。徐々に踏むことで、燃費が良くなりますよ。
- 3) タイヤの空気圧を適当にしましょう。普通のセダンタイプの車は、だいたい30～32psiがちょうど良いです。
- 4) スパークプラグを30,000kmおきに変えましょう。

突然車にトラブルがあった場合はどうすればいいですか？

A

1番オススメするのは、事前に日本でいうJAFにあたるRAC (Royal Automobile Club WA) などに加入して、ロードサービスを受けられるようにしておくことです。トラブルがあった時は、まず気持ちを落ち着かせて、車を安全な場所に移動させましょう。その後、保険会社や知り合いの整備士に連絡しましょう。

実際、整備士に車を見せる場合修理代は一般的にどのくらいですか？

A

タイヤの表面のパンクなら約\$20～、タイヤ横面の場合は交換が必要となるのでタイヤ代がかかります。オイル漏れの修理代は、漏れている場所によります。安い部分で約\$60～、高くなると約\$400～かかるでしょう。ブレーキの修理は、ローターの取替えが\$30～\$55、パッドは良いものになると\$65～\$90。安いものだと\$25～ぐらいでしょう。

整備士に車を修理してもらう際に、どのような説明が必要ですか？

A

いつから、どのように、何をしていたときに調子が悪いのかを、メカニックに口頭だけで説明せずに、一緒に車に乗って詳しく伝えると良いでしょう。

エンジンオイルはどのぐらいで交換すればよいですか？

A

車の年代に合わせたオイル(90～96年に生産された車：15W-40 96年以降に生産された車：10W-40)を走行距離7,500kmを目安に交換し、もしその他のオイルを使っている場合は、5,000kmで交換しましょう。またオイルフィルターは8,000kmが交換目安です。

ビギナーでもできるメンテナンスはありますか？

A

手袋をつけて、ガソリンスタンドでタイヤの空気圧をチェックしてみましょう。また、ライトの点検も簡単なのでやってみましょう。

空気圧の入れ方



- ①キャップを取る。
- ②ホースを空気が漏れなくなるまで差し込む。
- ③メーターが約30～32psiを指すまで、空気を入れる。